

## 令和7年度 第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会 モデル校報告

令和7年9月18日  
台東区立上野小学校  
校長 田中 康雄

## 1 校務における Google Workspace の活用

## (1) Google ドライブの活用による情報共有:クラウドを活用した業務遂行の意識の向上

- リンクの活用による学校行事実施案や学習指導案等の精度の向上

## (2) Google Chat の活用による情報共有:参画意識の向上・働き方改革への寄与

- 学校行事実施案や学習指導案等の円滑な協働編集

| 1 | 2  | 3   | 4  | 5  |
|---|--|---|--|--|
| 1 | 第1学年 図画工作科 学習プラン   | {作成者} 1年1組 渡邊 浩   | 図工専科 津口 貴子   |  |
| 2 | 教材名: つくって へんしん   | 本授業で目指す姿<br>自分の思いが形になることの喜びや感動を味わい、友達と関わりながら、つくるのが楽しい。つくるのが好きと思える。  | 授業の実施<br>図工での学習を振り返り、思いを込めて「今日はどんなことをしたのか」とクラウドした友達と共有し、感想を聞いている。図工専科では、図工専科に大きく関係する活動ができる授業が多かった。自分の好きなことを表現することが得意な様子である。また、絵で自分の好きなものを表現する学習では、友達と共有し、同じ世界観の友達を見つけては、つなげたりお話を聞いたりして表現の広がりを楽しんでいた。 | 【大切にしたい見方・考え方】<br>・どんな形かな？<br>・どうしてこの形にしたのかな？<br>・どんな色かな？<br>・どうしてこの色にしたのかな？ |
| 3 | 図画工作科の目標<br>表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などに関わる感覚・能力を育成することを旨とする。   | 2. 教材を生かして造形活動を楽しみ、全体で表現する楽しさを感じられるようになる。   | 自分の好きなものから発想を広げ、表現したいものを形にするための喜びを感じられる。   | 【大切にしたい学び方】<br>・学習の共通しさをもち、(できそ)   |
| 4 | 単元の目標<br>【知・技】 実物グッズをつくることを通して、形や色などに気付いている。【態度・関心】 自分が好きなものを表現する学習では、友達と共有し、同じ世界観の友達を見つけては、つなげたりお話を聞いたりして表現の広がりを楽しんでいた。 | 【知・技】 実物グッズをつくることを通して、形や色などに気付いている。【態度・関心】 自分が好きなものを表現する学習では、友達と共有し、同じ世界観の友達を見つけては、つなげたりお話を聞いたりして表現の広がりを楽しんでいた。 | 自分の表現したいことを見つけ、自由に表現することを通して、自分の思いや考えを表現し、友達と共有し、同じ世界観の友達を見つけては、つなげたりお話を聞いたりして表現の広がりを楽しんでいた。   | 【大切にしたい学び方】<br>・学習の共通しさをもち、(できそ)   |
| 5 | 授業構成 (全5時間程度)<br>単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜   | 1. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜  | 2. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜   | 3. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜                   |
| 6 | 流れ   | 1. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜  | 2. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜   | 3. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜                   |
| 7 | 時間   | 1. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜  | 2. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜   | 3. 単元を貫くテーマ: 造形的な見方・考え方を働かせた学び方へ自分で想像・遊ぶ・つくる・見る 止まらないワクワク〜                   |

\*単元デザインを協働編集

## (3) Google カレンダーの活用による情報共有:クラウドを活用した業務遂行の意識の向上

- 学校行事実施案等の円滑な共有

## (4) NotebookLM の活用による情報共有:働き方改革への寄与

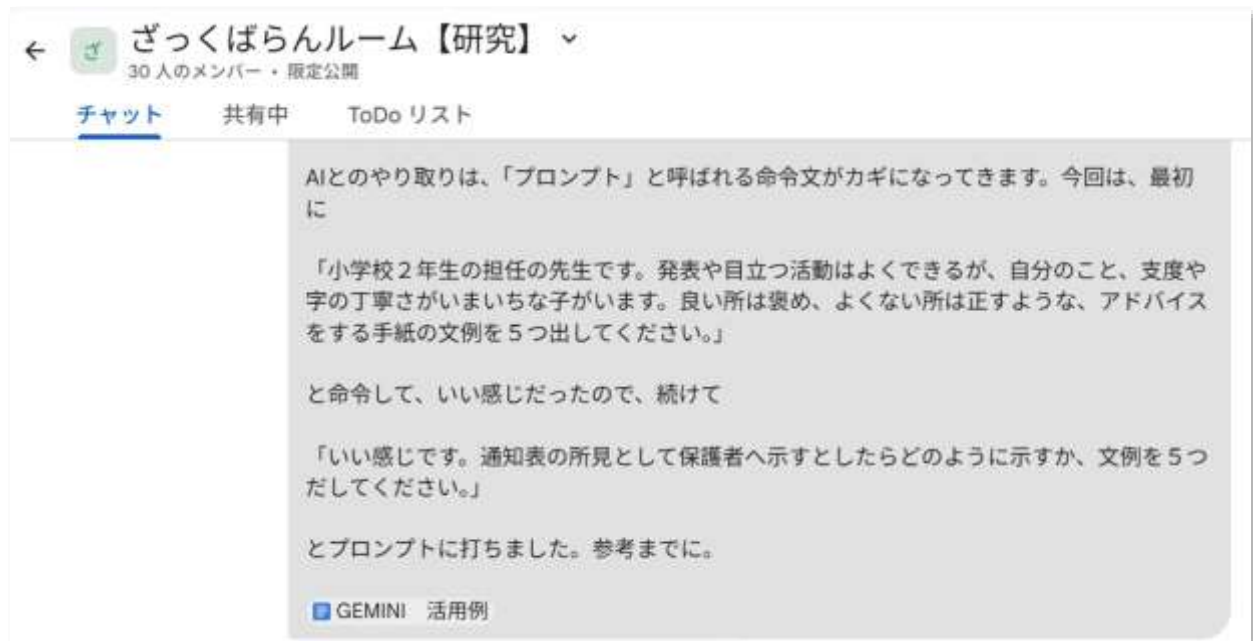
- 企画委員会や研究推進委員会等での議論のアウトラインを短時間で把握
- 中教審教育課程企画特別部会配付資料(論点整理)のアウトラインを短時間で把握



\*スライドや音声に変換

(5) Gemini の活用による文書作成補助: 働き方改革への寄与

- 通知表所見文のたたき台の出力
- 企画委員会や研究推進委員会での議論のアウトラインを短時間で把握



\* 通知表所見文たたき台を出力

2 校務における Google Workspace の活用による効果

(1) 「非同期・分散+協働」による活動連携の推進

- 教員の参画意識の向上（「主体的・対話的で深い学びの実装」に通底）
- 教員の働き方改革の推進（「多様性の包摂」「実現可能性の確保」に通底）

(2) 「論点整理」に示された「改訂議論を貫く三つの方向性」の担保

- 端末を活用しつつ、だれもが（「多様性の包摂」）、いつでもどこでも（「実現可能性の確保」）、自分事で問題解決に取り組むこと（「主体的・対話的で深い学びの実装」）ができ、その価値を自覚化することができる児童・生徒の育成に寄与